

専門教育科目	講義科目
--------	------

科目名：	FPのための相続・事業承継		科目コード	EH61		
科目主査：	峰尾 茂克	担当講師：	峰尾 茂克	単位	2	
				配当年次	3・4	
授業の目的と概要			グループワーク：	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク：	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
<p>相続・事業承継設計の領域は非常に広範囲ですが、とても身近な話であるといえます。例えば相続をめぐる空き家問題をはじめ、相続税の納税資金の問題、遺産分割をめぐる「争族」問題など、知識がなければ対応できない様々な課題に直面することになります。このように事前対策は生活設計において必要不可欠といえます。</p> <p>本科目では、事前対策に必要な、相続・遺贈・贈与の意義、相続人との相続分、相続税の課税価格、自社株の評価・対策、納税資金対策等、相続・事業継承全般について総合的に学習します。</p>						
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：前提科目ではありませんが、民法や相続税法の基礎知識が必要です。				
履修の前提となる知識 その他特記事項	テキストの内容が完全に理解できなくとも、各章の冒頭にある「この章のポイント」を読み、章ごとに各段階で何を学ぶのかを確認しながら読んでください。「ケーススタディ」と章末の「理解度テスト」を解いてください。					
テキスト	『2級FP技能士（AFP）試験対策相続・事業承継 基本テキスト』TAC株式会社, 最新版 （「テキスト参照」は、最新版の内容で記載しています。）					
この科目の到達目標	<p>①民法（相続編）と相続税法の基本用語や相続税額算出の仕組みを体系的に理解し、具体的に相続税の総額と相続人・受遺者の相続税額の計算ができる。</p> <p>②暦年課税による贈与税額算出の計算ができ、また被相続人からの贈与と相続の関係、贈与の相続時精算課税制度を理解し、説明できる。</p> <p>③具体的な親族関係図により、「法定相続人とその相続分」、「実際の相続人とその相続分」の区別及び判定ができる。</p> <p>④土地、家屋、株式など主要な相続財産の評価ができ、また相続事業承継における主要な財産評価の低減方法や納税資金対策方法等を提案できる。</p>					
成績評価の方法	<p>授業中に学習項目ごとに演習問題を解き、また、授業内容について課題を課します。これらの授業態度や課題提出状況等をもって授業に取り組む姿勢とみなします。成績評価は客観的知識の習得を主として判定します。</p> <p>※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。</p>					
事後学習	FP技能検定の学科試験過去問題を3回分解いてみれば、自分の実力がどのくらいか判定できます。3回分で誤った箇所をリストアップして自分なりの要約【ポイント】をサブノートにまとめて、繰り返し確認してください。					
事後学習の参考文献	<p>『みんなが欲しかった！FPの教科書 2級・AFP（最新版）』滝澤 ななみ, TAC出版</p> <p>『みんなが欲しかった！FPの問題集 2級・AFP（最新版）』滝澤 ななみ, TAC出版</p>					
スクーリング受講時に用意するもの						
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 電卓 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。						